

笑顔を運ぶ シニアミュージカル発起塾
「東北がんばっていきまっしょい公演」

報告書



NPO法人発起塾
〒543-0062
大阪府大阪市天王寺区逢阪1-3-19 北会所1F
月~金 10:00~18:00
担当 宮崎
TEL 06-6774-2615
E-MAIL hokkimail2000@hokkijuku.net
<http://www.hokkijuku.net>

はじめに

あの大震災からもうすぐ3年になろうとしています。

東京オリンピック招致、景気回復策の成功などという一部の利益が日本全体の利益という幻想に取りつかれ、東北での大地震・つなみ・原発事故の被害に対する悲しみや怒りについて政府の対応も国民感情も希薄になって来ています。いまだに多くの方たちが、職を失い、余震におびえ、劣悪な仮設住宅に住み、不便な暮らしを強いられています。

そういった状況の中、「これからが支援だ」と考える私達（NPO法人）発起塾は、今だからできるボランティア支援として、2013年から宮城県石巻での公演をスタートすることにしました。公演先を小規模仮設住宅を中心に、今後も公演をしていく予定です。できればこの活動を長く続けていきたいと思っていますのでご支援、よろしくお願いします。

代表・秋山シュン太郎

<目次>

- ・2014年公演先
- ・現地でお世話になった方々
- ・今後の目標

2014年 公演先（全16公演）

■8月26日（火）

今日は3班に別れての公演です。本日A班は旭化成団地さんと、追波川団地さん。B班は運動公園住宅集会所さん、そして本日だけのC班は子育て支援センターさんと、福祉仮設とうみねこ園さんの合同会場にお邪魔しました。C班以外はすべて仮設住宅です。さて、仮設住宅さんにお伺いして、昨年は人数もパラパラの所もありましたが、今年は、昨年の公演もあり、たくさんの方が来てくださいました。始め、不安そうな顔のお客さんも、段々嬉しそうな顔になり、開始10分後には大爆笑になりました。昨年の教訓を生かし節電に心がけたり、私たちが作り上げたものを見ていただく、という気持ちで取り組みました。最高齢80歳を筆頭の、AKB48の「会いたかった」は、本当にお客さまたちは大爆笑です。衣装も大変好評です。私は大変疲れましたが、踊って、歌って、芝居した生徒たちは、公演終了後もみんなが集まって、買い物などに行きました。みんな、凄い…。私たちスタッフが頑張れっという公演の初日を飾りました。仮設住宅で、最後に握手を求められ、「少し悩んでいることがありましたが、今日見せていただいて、腹の底から大笑いして、悩みが吹き飛びました」と、いつまでも握った手を離さない方に触れて、私たちは意義あることをしているんだと、自信を持たせて頂きました。私たちこそ、元気を頂きました。初日からアンコールがありましたが、（嬉しい！）これ以上やったら、何人が死にます。というジョークに、また大笑いして今日の幕は閉じました。

・10:00～ 旭化成団地（石巻市須江字関ノ入13-2）



・10:00～ 女川運動公園住宅（牡鹿郡女川町）

・10:30～ 女川町子育て支援センター（女川町鷲神浜字堀切山51-7）



・14:00～ 追波川団地（石巻市小船越字川前無番地）



・14:00～ きぼうのかね商店街、蒲鉾本舗高政見学

※きぼうのかね商店街は、被災にあった女川の町のがれきの中から見つかった、「希望の鐘」をシンボルとして、女川町に住まれていた方が復興を目指し、作られた商店街です。

※蒲鉾本舗高政では、語り部さんによる震災当時のお話を聞かせて頂きました。

■8月27日（水）

今日はA班は前山団地さん、B班は午前中は、みらいサポート石巻さんでの語り部ツアーに連れて行って頂き、押切沼団地さんで公演させて頂きました。どちらも仮設住宅の集会所です。A班の前山団地さんは、男性のお客様が多かったです！発起塾のピチピチギャルによる（服がピチピチね）の山本リンダに扮した、♪どうにもとまらないは、男性客の皆さんは鼻血が出そうだと言われました。公演終わりには、皆さんに「あんたら頑張ってね」「来年も元気で来てね、私も来年まで生きてるから」と涙目で言われました。昨年の反省を踏まえ、頑張って、と私たちが言うのではなく、皆さんから、頑張って、と言われようと決意してきましたから、とても嬉しかったです。私たちがやれることは、私たちが出来ることを頑張ればいいのです。ダンスを

間違わないように頑張る、歌を大きな声で歌う、台詞を間違わないように台本チェック、そして、この土地で、バンバン買い物して、バンバン美味しいもの食べて、生き金を落として行きます。

B班は午前中、語り部さんのお話を聞いたあと、被災地をガイドさんと一緒にまわりました。当時の映像や語り部さんの話にでてきた場所を実際にみることで、いかに津波の恐ろしさ、防災の考え方を考えさせられました。

午後からは押切沼団地で公演。男性の方がのりのりで踊ってくれました。アンコールもきました。そのあと、みんなでお茶をいただきながら(こちらでは、お茶っこ、と言います)いろいろなお話をしました。そして二つ約束をしてください、いわれました。それは、震災にあったらとにかく逃げなさい、と来年もきてください、でした。

・ 9：00～ 語り部ツアー（つなぐ館、被災地めぐり）

※みらいサポート石巻さんが運営するつなぐ館では、語り部さんによる被災体験のお話を聞かせて頂きました。

※被災地めぐりでは、みらいサポート石巻さんのスタッフの方の説明を受けながら、津波の被害にあった、石巻市の沿岸部を見てまわりました。



・ 10：00～ 前山団地（石巻市北村字前山4-10）



・14:00～ 押切沼団地（石巻市広瀨字砂一90-1、字砂四73-1）



■8月28日（木）

今日はA班は城内団地さんからみらいサポート石巻さんによる語り部さんのお話を聞いたあと、被災地廻りをさせて頂きました。B班は町北第3団地さんにお邪魔しました。

A班でも、昨日と同じように、爆笑の渦になりました。仮設住宅にはどこにも集会所がありますが、今まで一度も集会所にいらしたことがない方が、初めて来て下さいました。そして、その方にシンデレラの役をさせて頂きました。始め暗かったお顔もシンデレラ役になられた時は嬉しそうなお顔で、私たちも嬉しくなりました。お茶っこで、皆さんとたくさんお話しをし、甘いスイカを頂きました。めちくちゃ甘かった！年配の紳士から（うちの出演者のほうが年配ですが）「こんななら毎月来てもらいたい」と言われ大喜び！女性の方からは、石巻でも発起塾を作ってほしいと言われました。そして石巻から他の被災地に廻れたらいいなあ、と素晴らしい提案でした。前向きに考えねばっ！

語り部さんのお話は、実際に被災された方の体験談です。そして被災地を廻らせて頂いたとき、津波が襲ってきた海に近い日本製紙の大きな工場の横を通りました。そこらへん一帯は被災当時、跡形もなくなりましたが、日本製紙工場は崩れず、流されず残りました。津波が来たとき、工場内にいた、役千人の職員さんたちは、状況が分からないので、みんな家に帰りたいとか、家族に連絡したいとかで工場を出ようとしたのですが、総務部長が、ラジオで状況を把握していたため、津波の勢いを考えると、工場を出たら駄目だ、という判断をされ、誰一人出さなかったそうです。工場内は荒れに荒れて「総務部長にそんな権限があるのか！」ともめる場面もあったそうですが、基本的には就業時間内なので、仕事放棄するな、という言い訳で残ったそうです。そして、工場のある南区という地域は全滅しました。工場内に残った方は、津波時には被災され

ませんでした。非番だった方は残念ながら、お亡くなりになりました。他にも誤った情報で色んな所に人が殺到しました。単3電池一つで使えるので、ラジオを持ってください、と言われてました。子供から老人の持つスマホや携帯も水につかったらアウトが多いです。日本製紙工場さんには紙を作る大きな3台の機械がありましたが、1台目を100日くらいの日で、(異例の早さです)再建しました。500日後には3台稼働までこぎつけました。スカイツリー1本分の金額だそうです。昨年まで、日本製紙さんは石巻工場を撤退するかどうか検討中でしたが、今年3月、(3月だったかな)日本製紙会長から、工場残留がテレビで発表されました。現在の石巻市の役1300人の雇用が守られました。情報の大切さを痛感、痛感しました。

B班は町北第三団地へ。ここは10世帯という小さな仮設で、昨年もお伺いさせていただいたところでした。去年、みていただいた方もおられました。ここでも大盛り上がり。涙を流して笑っていただきました。お茶っ子ではいろんな人とのお話しが続き、帰る時はお互いに名残惜しくなり、全員でお見送りしていただきました。今日も感謝感謝です。

・10:00～ 城内団地(石巻市桃生町城内字東嶺164)



・13:00～ 語り部ツアー(つなぐ館、被災地めぐり)



・ 14:00～ 町北第3団地（石巻市広瀬字町北 付近）



■ 8月29日（金）

今日はA班は女川町地域医療センター、通所リハビリルームさんへ。B班は中津山団地さんと、せんだんの森ものうさんにお邪魔しました。

女川町地域医療センターさんでは、ダンスメドレーを踊っている私たちに、お客さまも飛び入りで一緒に踊り出す一幕もありました。終了時にはアンコールがありました。これ以上やったら、何人か倒れる、と説得しました。アンコールを頂くなんて有り難いことです。

B班は午前中、中津山仮設住宅へ。私たちの噂を他の仮設住宅さんで、聞いた別の仮設住宅にお住まいの方もきていただきました。アンコールでは、お客様も舞台にあがって一緒に踊っていただけました。

午後からはせんだんの杜ものうという老人ホームでの公演です。最初から一緒に踊ってくれる方もいたり、涙を流して笑っている方がいらっしゃいました。ここでも笑顔の輪が広がったと感じ、嬉しかったです。シンデレラ役の方はいつも明るい笑顔で応じてくださいます。ありがとうございました！

・ 10:00～ 中津山団地（石巻市桃生町中津山字八木 付近）



・14:00～ 女川町地域医療センター（女川町鷲神浜字堀切山51-7）



・14:00～ せんだんの杜ものう（石巻市桃生町中津山字八木46番地3）



■8月30日（土）

今日はA班は役場前団地さんと町北第2、第4団地さんへ。B班は女川町地域医療センター老人福祉施設4階と女川町地域医療センター福祉施設3階さんへお邪魔しました。A班の役場前団地さんの仮設住宅では、シンデレラはいつも視聴者参加で、シンデレラの役をお客様に急遽お願いするのですが、芝居が終わった後に、発起塾の塾生の王子さま役と、シンデレラに扮したお客様と並んで、皆さんと写真を撮るのですが、シンデレラ役のお母さんが、隣りに王子さまを座らせての記念写真撮影を拒否しました！理由は「おら、おどさんがいるから」（私には夫がいるから）という理由です。で、急遽、視聴者参加では発起塾初で、王子さまも、お客様に（お父さんね）衣装を来て貰っての写真撮影になりました。皆さん大爆笑でしたが、被災後3年半、このご夫婦は、どれだけ支えあって来たのだろう、と考えずにはいられない、言葉であったと思えました。初の王子さまが、この石巻の地で、ご夫婦であったことを、私は忘れられないなあ、と思えました。お茶っことは鯨のお刺身、竜田あげ、刺身盛り、手作り惣菜…と数えあげられないくらいでした。御馳走でした！

B班は女川地域医療センターの4階と3階で2公演しました。各階で、させて頂きました。100歳の方もみにきてくれ感激しました。急遽、シンデレラになっていた「こう」さんは、はじめはずかしがってましたが、最後に王子様が「私のお妃になってくれるんですね」のあと、普通プロンプターが「はい」と言ってください、とお願いするのですが、自発的に「はい」といって、客席は大盛り上がりでした。

・10:00～ 役場前団地（宮城県石巻市鹿又字役場前）



・10:00～ 女川町地域医療センター内の老人保健施設4F



・10:45～ 女川町地域医療センター内の老人保健施設3F



・ 14:00～ 町北第2,第4団地（石巻市広瀬字町北 付近）



■ 8月31日（日）

今日は最終日でA班をメインキャストとし、B班との合同公演で東北電子団地さんにお邪魔しました。こちらでも爆笑の渦でした。帰りにいつまでもいつまでも手をふって見送って頂きました。

・ 10:00～ 東北電子団地（石巻市北村字新俵庭）



・13:00～ 被災地めぐり（東松島市小野駅前応急仮設住宅、大川小学校）
※東日本大震災の大津波で全校児童108人のうち74人が死亡・行方不明となった宮城県石巻市立大川小学校にいきました。一面の野原の中に小学校はたっていました。バスの運転手さんのお話では、ここには集落があったそうですが、全て流されてしまったそうです。
※仮設住宅に住むお母さんたちがひとつひとつ靴下から手作りしたソックモンキーの「おのくん」に会いに行きました。「おのくん」には、日々前向きに、あたらしい未来を自分たちの手で築こうという思いが込められています。



■ありがとうございました。(お世話になった方々)

特定非営利活動法人MAKE THE HEAVEN

め組JAPAN 事務局

橋ノ口みゆきさん

TEL (090-8417-1951)

☆出逢いに感謝 その笑顔にありがとう

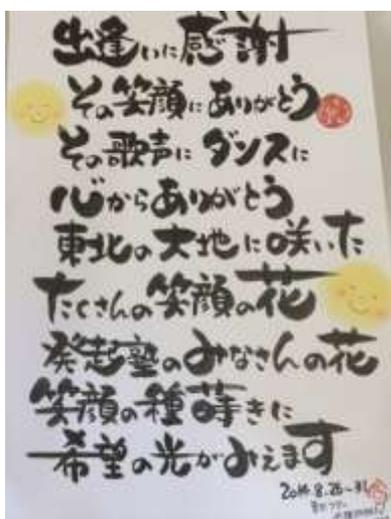
その歌声に ダンスに 心からありがとう

東北の大地に咲いた たくさんの笑顔の花

発起塾のみなさんの花

笑顔の種蒔きに 希望の光がみえます

2014. 8/26~31



(株) ノースジャパンジャパンツアーズ

山田さん

TEL (0225-23-7280)

☆お世話になりましてありがとうございます。

来年も継続していただくということ、この地域に住んでいる者として感謝申し上げます。

石巻サンプラザホテル

フロントチーフ 小野寺陽介さん

TEL (0225-93-3311)

☆皆様のおふれ出るエネルギーで被災地の同シニア世代が笑顔にあったかい気持ちになる事が出来ました。復興が急ピッチで進めば進むほどに以前の生活が

らは急激に変化し、戸惑っているのはやはりシニア世代の方々です。
発起塾ミュージカル公演により東北のシニア世代が笑顔に包まれてエネルギーを頂き、新しい生活や生き方を楽しく始めようとする一つのきっかけになったと信じています。
この様な非常に素晴らしい文化支援公演を今後も続けていただけたらと、お願い申し上げます。

以上の方の他にもみらいサポート石巻さん、女川町ボランティアセンターの矢竹さんに大変お世話になりました。
また大阪一心寺はじめ一心寺長老、高口恭行氏に全面的に支えて頂いたことに感謝いたします。

ありがとうございました。

今後の活動目標

震災から3年近くたとうとしています。現地の方にお話しをお伺いしました。街は復興が進み、当時テレビで見たような瓦礫の山を目にすることがありませんでした。急速に復興への道を進んでいるのだと感じました。それはとても素晴らしいことです。でもその反面、問題視されているのが、コミュニティ作りです。来年できる復興住宅に入居できる人はそこで新しいコミュニティ作りが必要です。一応、仮設住宅では、復興住宅や他地域に引っ越す人が増え、入居者が減り、人との触れ合いが少なくなっていく感じがします。



そこで発起塾が今後、この地での役割として考えていることは

- ① 来年の2014年は、発起塾ミュージカルに参加いただける市民の方（ただし50歳以上）を募集。一緒に仮設住宅でのミニミュージカル公演をする
- ② 3年目（2015年）は、2014年に参加いただいた方々を中心に、石巻ミュージカルチームを結成し、コミュニティ作り応援公演を行う——です。

来年からも引き続き、ご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします

NPO法人発起塾

〒543-0062

大阪市天王寺区逢坂1-3-19 北会所1階

TEL (06) 6774-2615

メール hokkimail2000@hokkijuku.net

HP <http://www.hokkijuku.net/>